

**製品名:** チューブリン  $\alpha$ -3C/D/E ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab19425

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	50kDa

## 抗原情報

遺伝子名	TUBA3C/D/TUBA3E
別名	TUBA3C; TUBA2; TUBA3D; Tubulin alpha-3C/D chain; Alpha-tubulin 2; Alpha-tubulin 3C/D; Tubulin alpha-2 chain; TUBA3E; Tubulin alpha-3E chain; Alpha-tubulin 3E
遺伝子 ID	113457/7278/112714
SwissProt ID	Q13748/Q6PEY2
免疫原	抗血清はヒト TUBA3C/E 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

## 背景

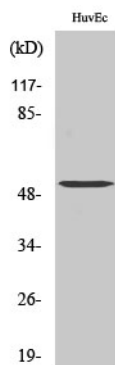
真核生物の細胞骨格の微小管は、必須かつ多様な機能を果たし、 $\alpha$ および $\beta$ チューブリンのヘテロ二量体で構成されています。これら

の微小管構成要素をコードする遺伝子は、6つの異なるファミリーで構成されるチューブリンスーパーファミリーの一部です。α、β、γチューブリンファミリーの遺伝子は、すべての真核生物に見られます。αおよびβチューブリンは微小管の主要構成要素であり、γチューブリンは微小管組み立ての核形成に重要な役割を果たします。αおよびβチューブリン遺伝子は複数存在し、種間および種間で高度に保存されています。この遺伝子は、マウス精巣特異的 Tuba3 および Tuba7 遺伝子産物と 99%同一のタンパク質をコードするαチューブリン遺伝子です。この遺伝子は、遺伝性疾患であるクルーストン発汗性外胚葉性異形成症および歌舞伎症候群に関連する 13q11 領域に位置しています。 [providfunction:チューブリンは微小管の主要構成分子です。2モルのGTPを結合します。1つはβ鎖の交換可能部位、もう1つはα鎖の非交換性部位です。 ,online information:チューブリンのエントリー,PTM:チューブリンチロシンカルボキシペプチダーゼ (TTCP) とチューブリンチロシンリガーゼ (TTL) という酵素によって、C末端チロシン残基が周期的に除去され、再び付加されるチロシン化/脱チロシン化サイクルを受けます。 ,similarity:チューブリンファミリーに属します。 ,subunit:α鎖とβ鎖の二量体です。 ,tissue specificity:精巣特異的です。 ,

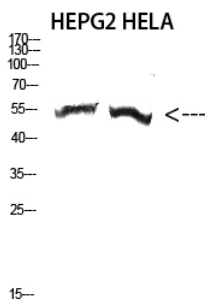
## 研究分野

ギャップジャンクション;病原性大腸菌感染症;

## 画像データ



チューブリン α-3C/D/E ポリクローナル抗体を 1: 2000 に希釈し、様々な細胞をウェスタンブロット解析した。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。



2000 倍希釈の抗体を用いた HEPG2 HELA 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 倍希釈した。